

会 議 記 録

高松市附属機関等の設置、運用に関する要綱の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会 議 名	平成 3 0 年度高松市放課後子ども総合プラン運営委員会
開催日時	平成 3 0 年 1 0 月 1 8 日（木） 午前 1 0 時 3 0 分～正午
開催場所	高松市役所 3 階 3 2 会議室
議 題	（１）放課後子ども総合プラン運営委員会委員長の互選及び副委員長 の選任について （２）新・放課後子ども総合プランについて （３）放課後児童クラブについて （４）放課後子ども教室について （５）放課後児童クラブと放課後子ども教室の一体型について （６）その他
公開の区分	■ 公開 □ 一部公開 □ 非公開
上記理由	
出席委員	清國委員、日下委員、宮脇委員、石原委員、谷井委員、野上委員、 山下委員、川田委員、横関委員、野町委員、本多委員、山崎委員 計 1 2 人
傍 聴 者	1 人 （定員 5 人）
担当課及び連絡先	子育て支援課放課後支援係 8 3 9 - 2 3 5 4

会議の経過及び結果
議題（１）放課後子ども総合プラン運営委員会委員長の互選及び副委員長の選任について 高松市放課後子ども総合プラン運営委員会設置要綱第 5 条第 1 項の規定に基づき、委員の互選により委員長を、委員長の指名により副委員長を選任した。 委員長 清國委員 副委員長 日下委員
議題（２）新・放課後子ども総合プランについて 新・放課後子ども総合プランについて事務局から報告した。
議題（３）放課後児童クラブについて 放課後児童クラブについて事務局から報告し、次のとおり意見があった。 （委員） 支援員の退職理由の中で何が多いのか。また、女性が多いのか。現状を教えてほしい。 （事務局） 退職理由としては、親の介護が必要となった方やクラブの職員同士の方向性の違い等様々な理由がある。また、男性の支援員もいるが、約 1 0 0 名中 1 0 人に満たない人数であり、ほとんどが女性の支援員である。 （委員長） 職員の入れ替わりが多いと子どもにとっても良くない。やりがいを持ってこの仕事に定着してくれるような働きかけも必要だと思う。

会議の経過及び結果

(委員)

親の介護という理由もあるが、若い支援員に関しては、教員を目指す方が多いということもある。また、給料面の問題や働く時間帯の問題もあると思う。

(委員長)

女性の活躍に伴い、想定している以上の待機児童が発生しており、数字をずっと追いかけている状況である。

(委員)

現在、管理している保育園で、小学３年生までを見ているが、現実的に大変な子どもが多くなっているように感じる。今後はどのように見守っていく予定なのか。

(委員長)

低学年の待機児童への対応が必要となっている。子どもの居場所をしっかりと作っていき、限られた予算の中でクラブの量だけでなく質の確立に取り組んでほしい。

議題（４）放課後子ども教室について

議題（５）放課後児童クラブと放課後子ども教室の一体型について

放課後子ども教室及び放課後児童クラブと放課後子ども教室の一体型について事務局から報告し、次のとおり意見があった。

(委員)

放課後児童クラブと放課後子ども教室の名前が似ているため、保護者へ理解してもらうことが難しい。また、安全管理や子どもの受け渡し方法、連絡面等どこまでが保護者の責任なのか。

(委員)

子ども教室のコーディネーターをしている。人数の確保については、難しいところがあるが、自身の校区では、ボランティアやＰＴＡを中心にサポーターを集めている。また、小学校の体育館や運動場を使用しているが、放課後児童クラブともお互いに情報共有をしていきたい。

(事務局)

いただいた御意見を参考にして、各校区に働きかけていきたいと思う。

議題（６）その他

その他、委員から特に意見はなく、以上をもって、本日の会議を終了することとした。

以上